| 科目ナンバリング | U-LAS06 20031 LJ43 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | 統計リテラシー<br>Literacy of statistical data | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 非常勤講師 芦谷　恒憲 | | |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | 分野(分類) | 法・政治・経済(各論) | 使用言語 | 日本語 | | |
| 旧群 | A群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2024・前期 | 曜時限 | 水3 | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

統計は、各種行政の企画立案やその推進の基礎資料のほか、大学、研究機関及び民間企業などにおいて広く活用されている。
また、経済学、政治学、社会学、公共政策論などでも統計の利用が不可欠である。統計データがどのような意味を持ち、どのように作成されているか事例を通して理解すること目的とする。

**[到達目標]**

統計の基本、統計調査の実際、公的統計の見方・使い方、統計データの加工及び利活用事例についての理解を目標とする。

**[授業計画と内容]**

第1回 統計の意義と役割
　統計の意義と役割、公的統計の役割
第2回 統計法規の概要
　統計法規から見た統計の作成と課題
第3回 統計調査の概要
　統計調査の概要と課題
第4回 統計調査の実際
　統計調査実際と課題
第5回 経済社会統計の概要
　経済社会統計の概要
第6回 統計基準・統計分類
　統計基準・統計分類の概要
第7回 統計データの利活用例１
　データの種類と見える化の方法
第8回 人口統計の概要
　国勢調査、人口動態統計調査、人口推計
第9回 労働統計の概要
　労働力調査、就業構造基本調査、毎月勤労統計、賃金構造基本調査
第10回 生活・消費統計の概要
　家計調査、全国家計構造調査、国民生活基礎調査、社会生活基本調査
第11回 産業・企業統計の概要
　経済構造調査、法人企業統計調査
第12回 ＧＤＰ、経済指数の概要
　地域産業連関表、県民経済計算、鉱工業指数、景気動向指数
第13回 金融・財政、貿易・移出入推計の概要
　金融統計、財政統計、貿易統計、域際収支（移出入）推計
第14回 統計データの利活用例2
　経済統計データの分析、統計リテラシー」まとめ
第15回 まとめ（意見交換：フィードバック）

統計リテラシー(2)へ続く↓↓↓

**統計リテラシー(2)**

データ収集の方法、データ加工の方法、データの見方使い方

**[履修要件]**

特になし

**[成績評価の方法・観点]**

定期試験50%、受講アンケート（15回及びフィードバック意見交換）50%で評価（計100点）する。

**[教科書]**

使用しない

**[参考書等]**

（参考書）
御園謙吉ほか 『よくわかる統計学II経済統計編　第２版』（ミネルヴァ書房）ISBN:978-4623061129
総務省政策統括官（統計基準担当）監修 『「統計実務基礎知識(令和2年版)」』（(財)統計情報研究開発センター）
宇都宮浄人・多田実編 『「まちづくりの統計学」』（学芸出版社）ISBN:978-4-7615-2806-5

（関連ＵＲＬ）
https://web.pref.hyogo.lg.jp/stat/index.html(兵庫県ＷＥＢページ（統計）)
https://www.e-stat.go.jp/(政府統計の総合窓口(e-stat)　)

**[授業外学修（予習・復習）等]**

地域経済統計を利用するため、統計を作成（データ加工を含む）する力、統計データを分析する力、統計データを読む力や統計データの加工分析方法など統計実務について学ぶ。

**[その他（オフィスアワー等）]**

毎回、質疑応答時間（約5分）を設ける。
公的統計や地域統計などに関する質問は、
e-mail(tsunenori_ashiya01@pref.hyogo.lg.jp)で随時受け付ける。

その他(実務経験のある教員による授業概要)
①分類：１．実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目
②当該授業科目に関連した実務経験の内容
実務経験：地域統計の作成・加工・分析業務従事（兵庫県統計課：主幹、参事、統計分析官等27年）、兵庫県シンクタンク((財)21世紀ひょうご創造協会：現(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構)及び民間シンクタンク(太陽神戸総合研究所：現日本総合研究所) で計4年研究員で、経済波及効果推計や阪神・淡路大震災経済的影響の事例収取及びデータ分析業務に従事した。
③実務経験を活かした実践的な授業の内容
地域統計の作成方法、データ加工分析方法の現状と課題及び統計データ利活用の事例を実データを用いて紹介する。